MONOCK

ストックルーム収納 [モノック]

施工説明書

必ずお読みください

施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業までですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前にご確認お願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工を行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

施工上のご注意

屋外禁止

内装専用の製品です。屋外での使用はできません。

キズ注意

施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。

水・湿気禁止

屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。

火気厳禁

木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。

テープ禁止

粘着テープ（セロハンテープ・シール等）を化粧面に貼らないでください。

溶剤厳禁

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようにご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

目次

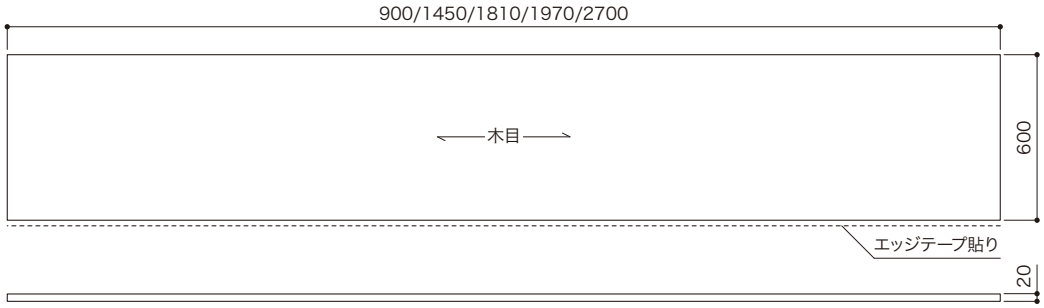
製品図面・パーツセット明細 ……1～2
施工前の確認事項 …… 3
躯体準備 …… 4
施工手順 …… 4～11
設置位置イメージ ……12～裏面

製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

ベーシックパーツ　以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

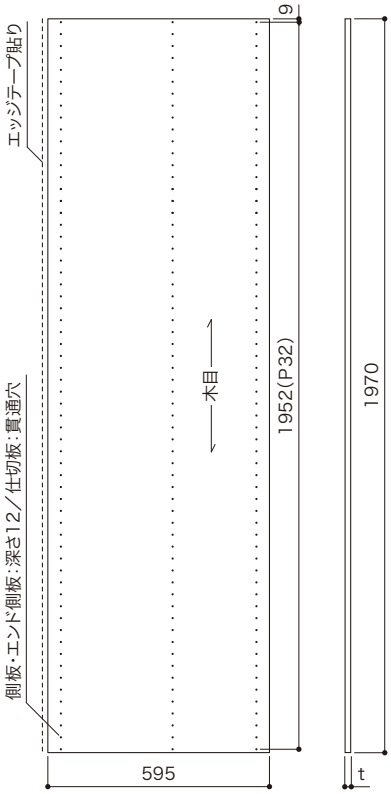
天板



部品	施工・取扱説明書
	各1式

※「モノック」以外の製品に関する施工・取扱説明書が同梱されていますが、本製品の施工には必要ありません。

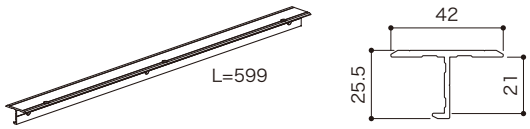
側板・エンド側板・仕切板



側板 t=15
仕切板/エンド側板 t=20

部品	パーツ	樹脂金具	バインドビスL=16	バインドビスL=50	ビスキャップセット		エッジテープ
					サラビスL=51	ビスキャップ・ワッシャー	(天板用)
	側板	4個	8本	2本	6セット		―
	エンド側板	7個	14本	2本	―		1枚
	仕切板	7個	14本	2本	―		―

ジョイント金具

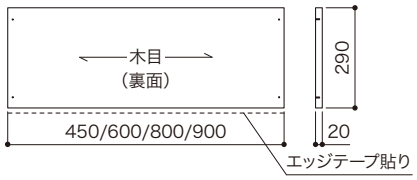


部品	サラビスL=16	サラビスL=30
	3本	3本

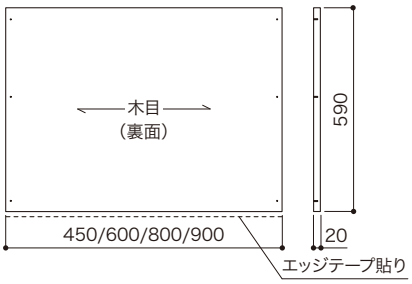
プラスアップパーツ　以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

棚板(可動・固定兼用)

D3



D6



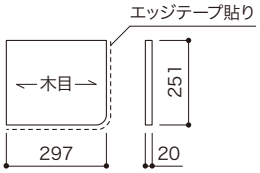
部品	サイズ	樹脂金具	バインドビスL=16	可動棚受(前)	可動棚受(後)
	D3	4個	8本	左右各1個	2個
	D6	6個	12本	左右各1個	4個

製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

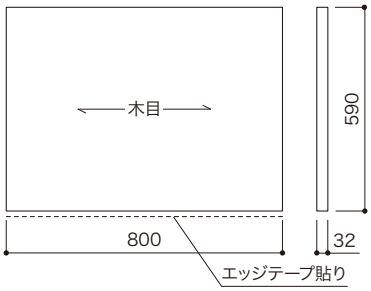
プラスアップパーツ　以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

連結棚板



部品	樹脂金具	バインドビスL=16	サラビスL=16	サラビスL=30	連結金具
	1個	2本	2本	2本	1本

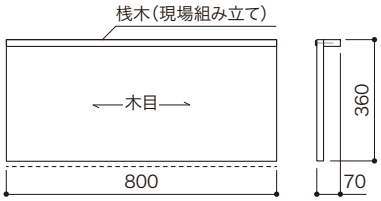
重量用棚板



部品	重量用棚受	バインドビスL=16	L字ブラケット	L字カバー	サラビスL=51
	6個	16本	2個	2個	2本

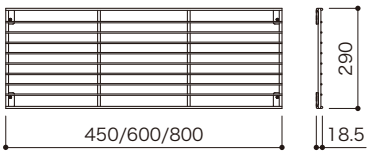
※「モノック」以外の製品に関する施工・取扱説明書が同梱されていますが、本製品の施工には必要ありません。
※樹脂金具が同梱されていますが、施工には必要ありません。

L型棚板



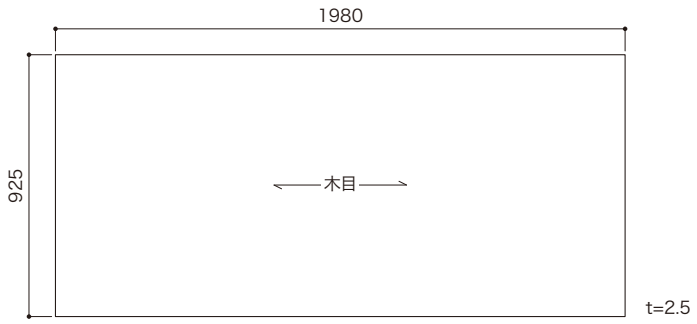
部品	樹脂金具	バインドビスL=16	サラビスL=51	ビスキャップセット
				ビスキャップ・ワッシャー
	4個	8本	3本	3セット

網棚(可動・固定兼用)



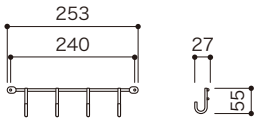
部品	樹脂金具	バインドビスL=16	固定ネジL=10	可動棚受(前)	可動棚受(後)
	4個	4本	4本	左右各1個	2個

背板パネル



隙間かくし材

4連フック



部品	ビスL=16
	2本

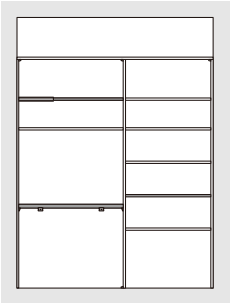
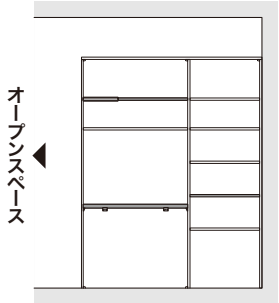
施工前の確認事項

寸法単位:mm

[設置条件について]

:各棚板(固定)／:各棚板(可動)

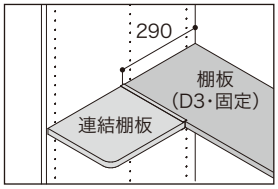
設置方法には **両側壁納め** ・ **片側オープン** の 2 パターンがあります。
プランによって、施工方法・条件が異なりますので、施工前に必ず、以下の説明をお読みください。

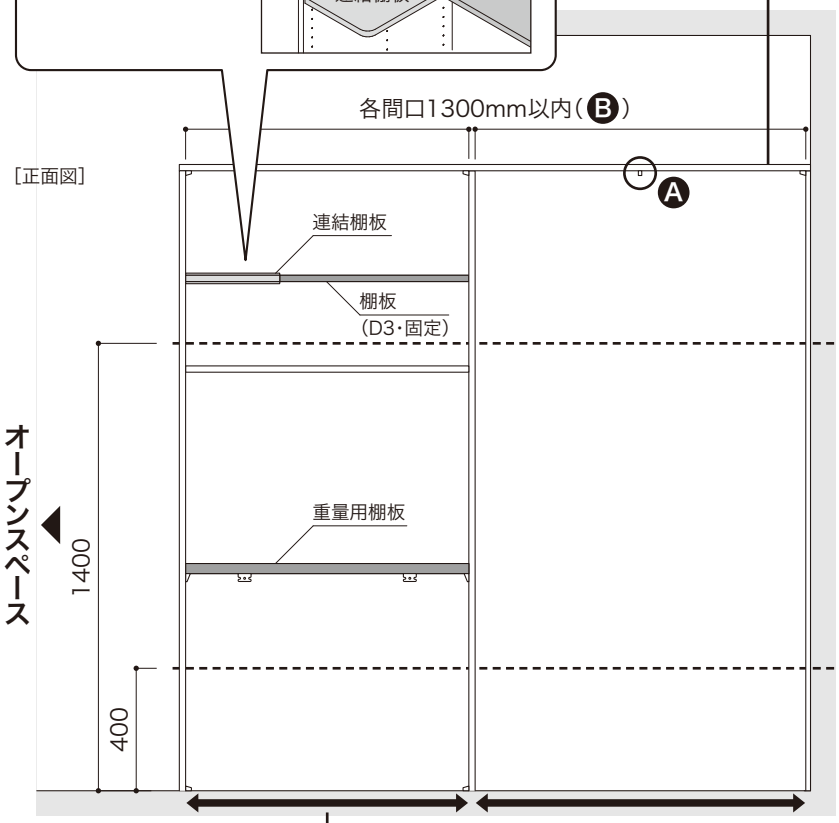
両側壁納め	片側オープン	両側オープン
		設置不可

部材設置イメージ図

ご注意

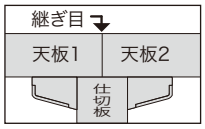
連結棚板は棚板(D3・固定)に連結してください。





天板を連結する場合

天板継ぎ目部分の下部を必ず仕切板で連結し、同梱の樹脂金具で天板と仕切板を固定してください。



各側板・仕切板について

各側板　側板・エンド側板の2種類があります。
側板:壁面へ取り付け
エンド側板:オープン側へ取り付け

施工前に **製品図面** **P1** を参照し、それぞれの用途に応じた施工を行なってください。

- ●1列の間口が1000mmを超える場合は天板下面と壁面を樹脂金具で固定してください。(左図 A)
- ●1列の間口は1300mm以内で設計してください。1300mmを超える場合は、仕切板を追加設置してください。(左図 B)

各棚板を設置する場合

- ●片側または両側に、オープンスペース、もしくは固定パーツのない列がある場合、各棚板(固定)を1列につき1枚以上設置してください。
- ●設置高は床から各棚板上面まで400～1400mmの間です。
  お守りいただけない場合、全体の寸法精度および強度が保てない可能性があります。
- ●重量用棚板は1列につき3段まで、床から1200mm以内の位置に設置してください。

各棚板について

各棚板　棚板／網棚／重量用棚板／L型棚板の4種類があります。

間口カットについて

網棚を設置する列は間口カットができません。

背板パネルを設置する場合

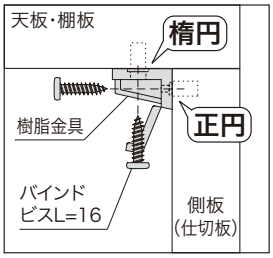
1列の間口が901mm以上の場合、背板パネルの取り付けはできません。
※背板パネルの木口が見える場合は隙間かくし材で納めます。

樹脂金具について

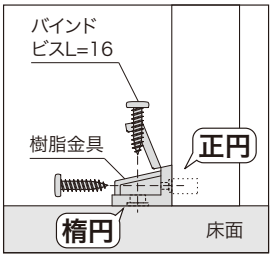
樹脂金具は片方の穴が楕円になっています。側板・仕切板には必ず樹脂金具の正円の穴が当たるように固定してください。

樹脂金具 正円	➡ ダボ穴／各側板・仕切板
樹脂金具 楕円	➡ 下穴／天板・各棚板

天板・棚板



床面への固定



ご注意

バインドビスの締め過ぎにご注意ください。
ビスが空回りすると、保持力がなくなり全体の強度を保てなくなる可能性があります。

躯体準備

寸法単位:mm

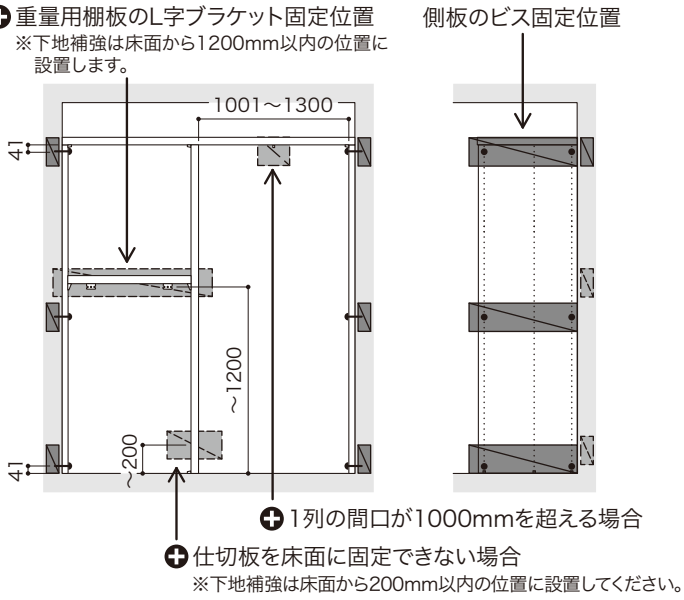
●施工前に躯体の垂直・直角を確認し、不陸のないように床面を平滑にしてください。
●躯体の垂直・直角、床面の水平が取れていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。
●床面にバインドビスL=16で固定するため12mm厚以上のフローリングなどを用いて施工を行なってください。
●本製品は以下の場所に下地補強が必要です。それぞれビス取り付け位置に補強桟木や12mm厚の合板(現場調達)を設置してください。

：基本の下地補強位置 ／ ：設置場所・プランニングにより必要な下地補強位置

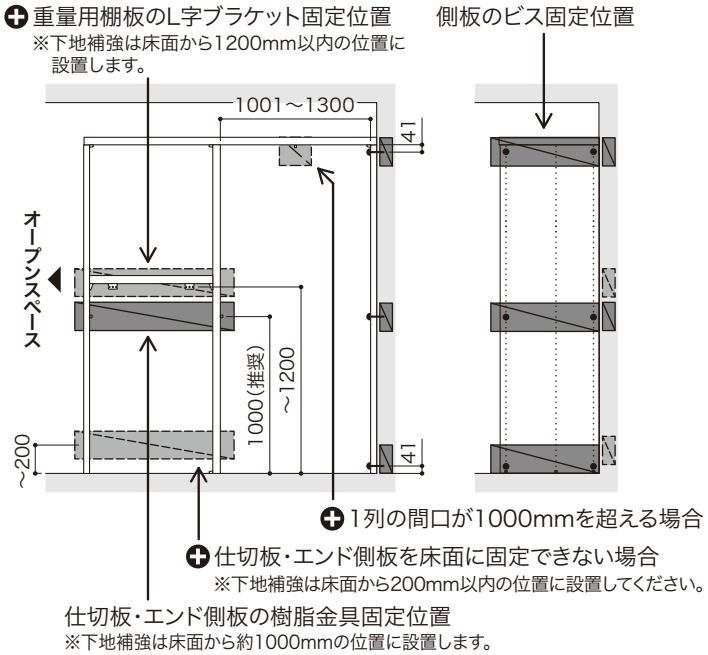
ご注意

本体は必ず壁面・床面、または下地補強済みの躯体に固定してください。壁面の下地処理が不充分だと転倒・脱落の原因となります。

両側壁納め



片側オープン



※上図は説明のため、躯体への固定が必要となるパーツのみを表示しています。　※上図の寸法は高さ方向のカットがない場合の数値です。

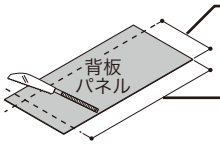
施工手順

寸法単位:mm

1 背板パネルの取り付け(背板パネルを取り付ける場合のみ)

1 背板パネルの加工

右図を参考に設置位置を確認して背板パネルをカットしてください。



間口カット寸法
(右図参照)

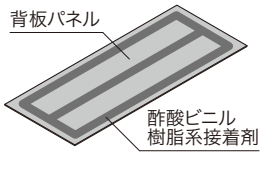
高さカット寸法
(右図参照)

2 取り付け位置の墨出し

右図を参考に背板パネルの取り付け位置を墨出しします。

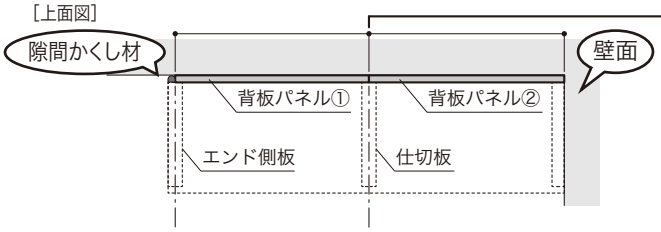
3 背板パネルの貼り付け

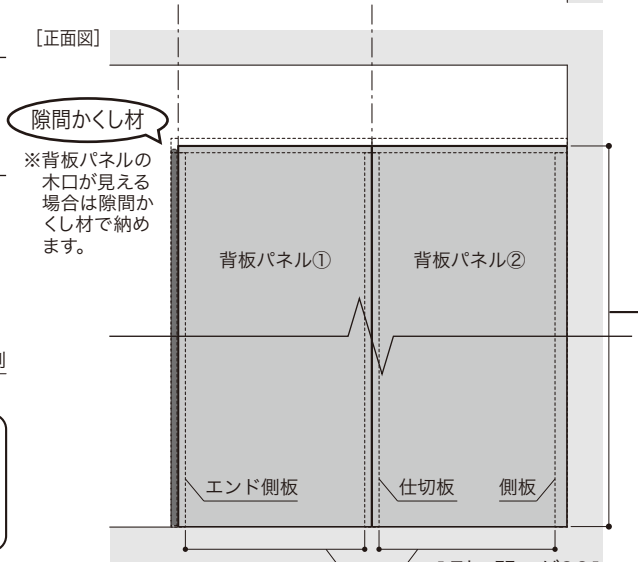
酢酸ビニル樹脂系接着剤+フィニッシュネイルまたは隠し釘(現場調達)で壁面へ背板パネルを固定してください。



ご注意

背板パネルを取り付ける場合は、クロスを貼らずに石膏ボード仕上げの上に取り付けてください。

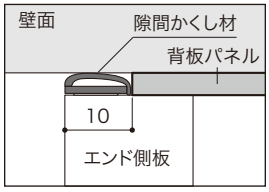




1列の間口が901mm以上の場合、背板パネルの取り付けはできません。

間口カット寸法

・背板パネル同士の継ぎ目は仕切板の後ろで納めてください。
・隙間かくし材が必要な箇所は、下図を参考に背板パネルを10mm短くカットしてください。



高さカット寸法

側板高さ寸法+10

※巾木が取り付く(ある)場合

側板高さ寸法+10−巾木高さ

巾木の上面から背板パネルを取り付けてください。

寸法単位:mm

2 側板・エンド側板の取り付け

側板は壁側、エンド側板はオープン側に取り付けてください。

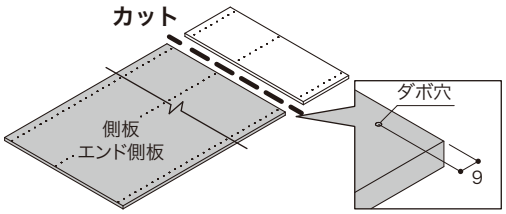
カットする場合

墨出し前にダボ穴の中心から9mmの位置でカットしてください。

ご注意

必ずエッジテープ側からカットしてください。

反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。



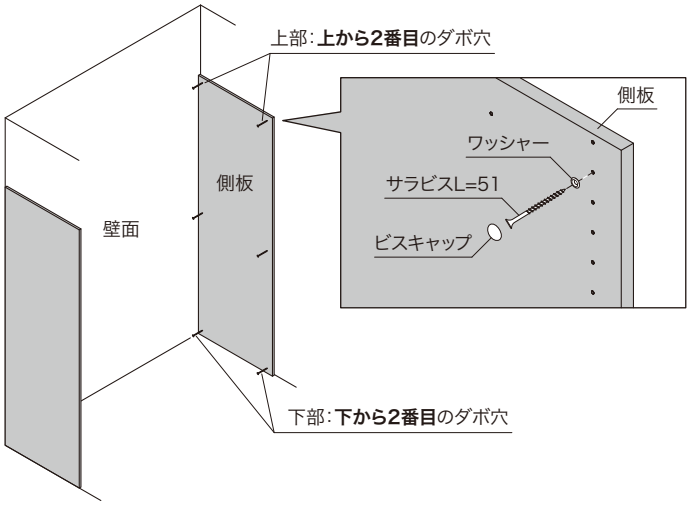
側板

側板を躯体にサラビスL=51(ビスキャップ付)で固定してください。

ビス固定位置:前後2箇所×上部・中央部・下部

ご注意

- サラビスL=51を取り付けるダボ穴は
  上部:**上から2番目**、下部:**下から2番目**、
  中央部:**他の部材の固定などに使用しないダボ穴**
  を選んでください。
- 必ず下地のある位置で固定してください。



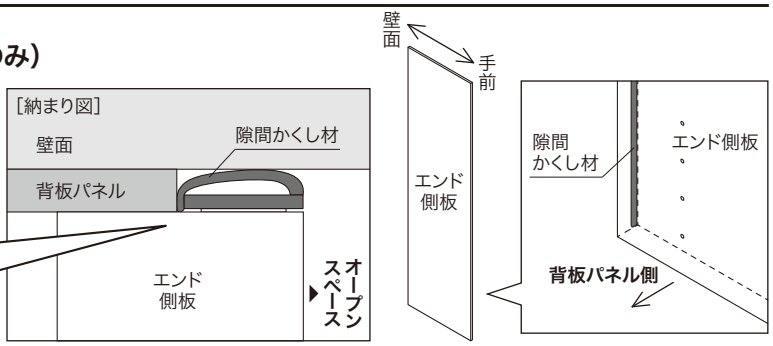
エンド側板

1 隙間かくし材の貼り付け(背板パネルを設置する場合のみ)

エンド側板の長さに合わせて隙間かくし材をカットした後、両面テープを剥がしてオープンスペースへ設置するエンド側板の指定位置へ貼り付けます。

ご注意

隙間かくし材には貼り付け向きがあります。右図を参考に貼り付けてください。



2 エンド側板の取り付け

エンド側板の取り付け位置を墨出しし、背壁面・床面を壁面に樹脂金具を使って固定してください。エンド側板は、**片面のみの固定**となります。同梱されているエッジテープは天板の木口部分に貼ってください。

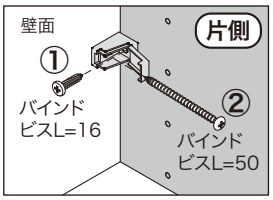
樹脂金具取付位置:中央部 1箇所(ダボ穴なし)・下部 前後中央3箇所

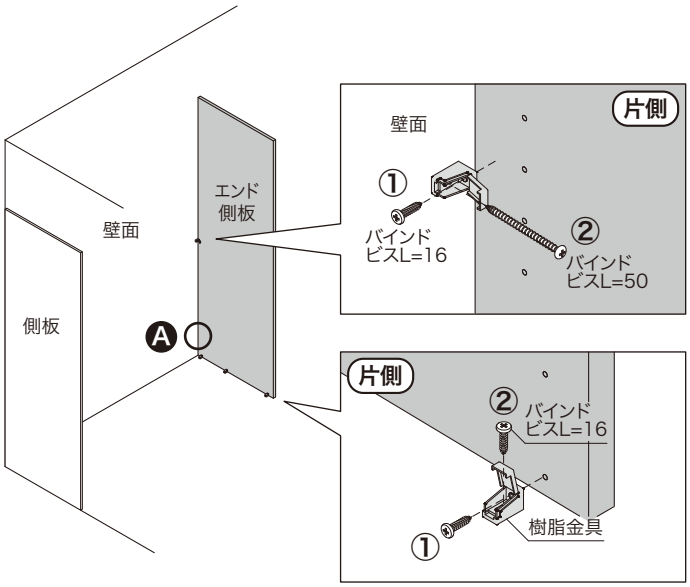
ご注意

壁面は必ず下地のある位置で固定してください。

床面にビス打ちできない場合

床面から200mm以内の下地補強のある位置に樹脂金具でエンド側板を固定してください。(右図Ⓐ)





寸法単位:mm

3 天板の取り付け

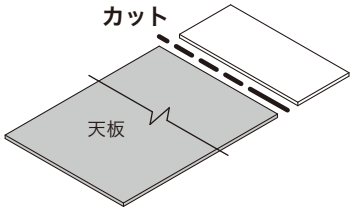
カットする場合

設置位置の寸法にカットしてください。

ご注意

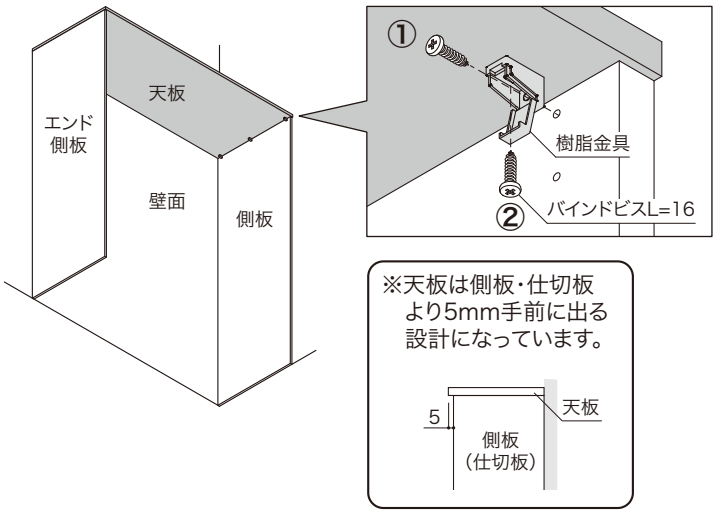
必ずエッジテープ側からカットしてください。

反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。



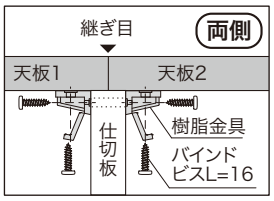
天板を側板上部両端にあるダボ穴に樹脂金具を使って固定してください。

樹脂金具固定位置：前後中央3箇所



天板を連結する場合

2枚目の天板を図のように仕切板上部で連結し、両側を樹脂金具で固定してください。

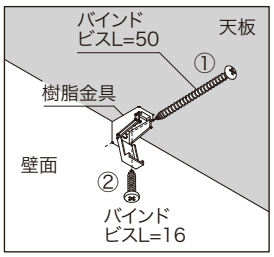


1列の間口が1000mmを超える場合

天板下面を間柱もしくは補強桟木のある壁面に樹脂金具で固定してください。

ご注意

壁面は必ず下地のある位置で固定してください。



4 仕切板の取り付け

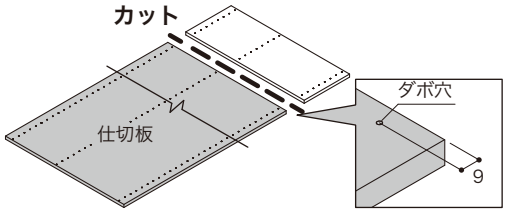
カットする場合

墨出し前にダボ穴の中心から9mmの位置でカットしてください。

ご注意

必ずエッジテープ側からカットしてください。

反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。

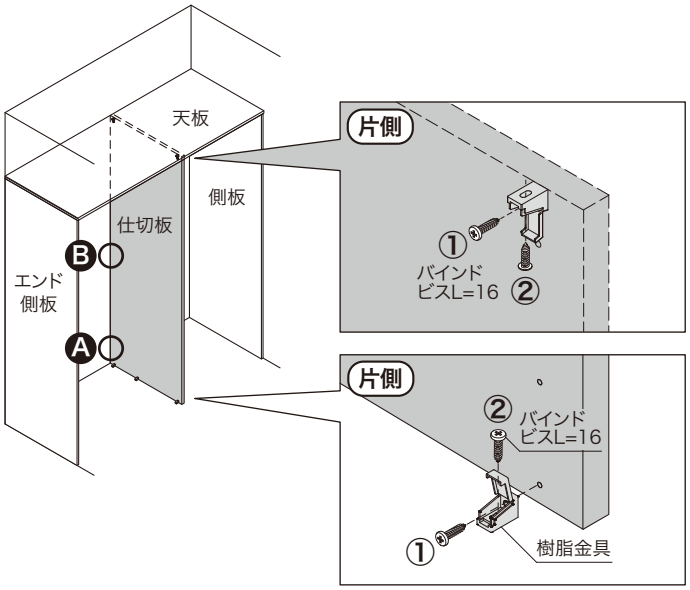


仕切板の取り付け位置を列の間口寸法にあわせて墨出しし、天板と壁面に樹脂金具を使って右図のように固定してください。
仕切板は、**片面のみの固定**となります。

樹脂金具取付位置：前後中央3箇所×上部・下部
片側オープン の場合、中央部1箇所（ダボ穴なし）

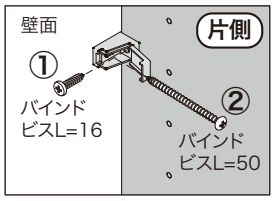
ご注意

壁面は必ず下地のある位置で固定してください。



片側オープン の場合

床面から約1000mmの下地補強のある位置に樹脂金具で仕切板を固定してください。（右図 B）



床面にビス打ちできない場合

床面から200mm以内の下地補強のある位置に樹脂金具で仕切板を固定してください。（右図 A）

施工手順

寸法単位:mm

5　各棚板（固定）の取り付け

取り付け位置詳細：12ページ～

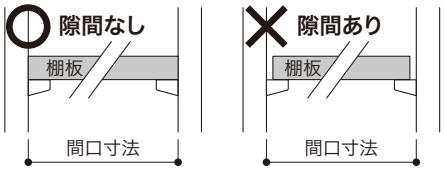
カットする場合（棚板・重量用棚板・L型棚板のみ）

間口寸法と同寸法に棚板をカットします。　※L型棚板は桟木も同じ寸法にカットしてください。

ご注意

●必ずエッジテープ側からカットしてください。
反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。

●網棚、連結棚板はカットできません。



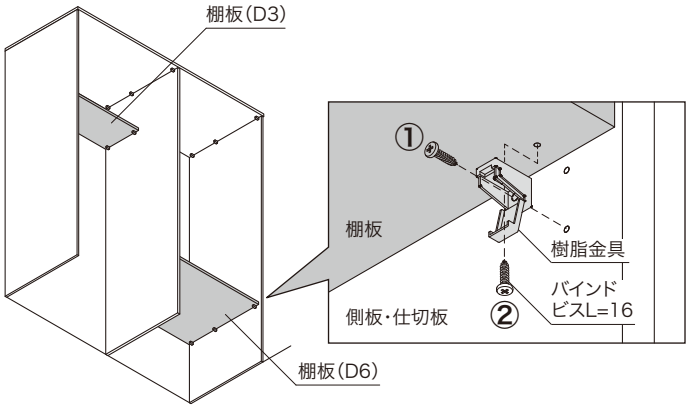
棚板

棚板と側板・仕切板のダボ穴を樹脂金具を使って右図のように固定してください。

ご注意

使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

樹脂金具固定位置：D3：前後2箇所×左右
※側板・仕切板の中央と後のダボ穴を使用してください。
D6：前後中央3箇所×左右



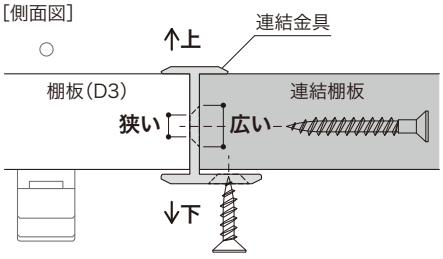
連結棚板

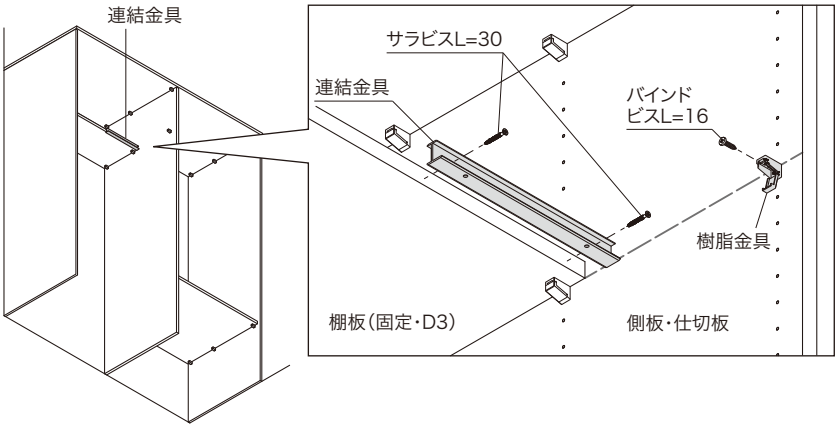
1　連結金具、樹脂金具の取り付け

棚板（固定・D3）に連結金具をサラビスL=30で2箇所固定します。また、樹脂金具をバインドビスL=16にて側板・仕切板へ右図のように取り付けてください。

ご注意

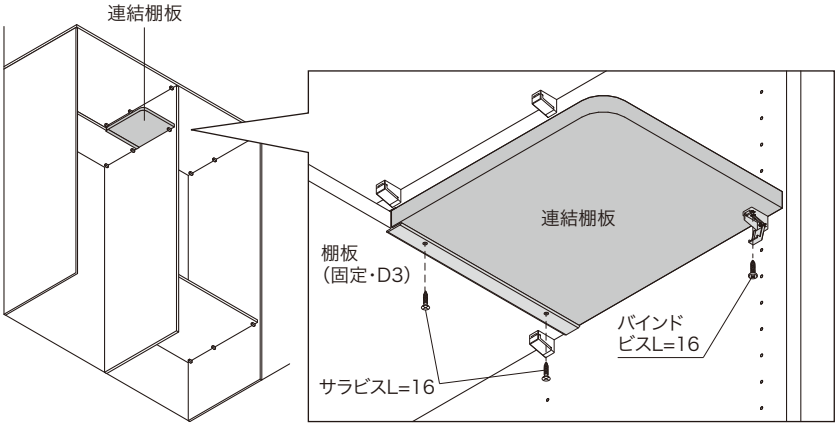
●棚板（固定・D3）の樹脂金具と使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。
●連結金具の取り付け向きにご注意ください。





2　連結棚板の固定

連結金具を連結棚板に向かってサラビスL=16で2箇所固定します。また、樹脂金具をバインドビスL=16で連結棚板に向かって固定してください。



施工手順

寸法単位:mm

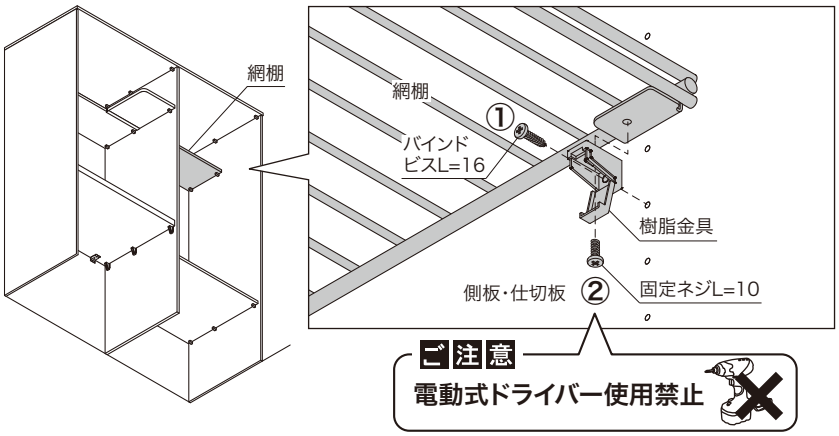
網棚

網棚と側板・仕切板のダボ穴を樹脂金具を使って
右図のように固定してください。

ご注意

- 金属部分で側板・仕切板にキズをつけないようご注意ください。
- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

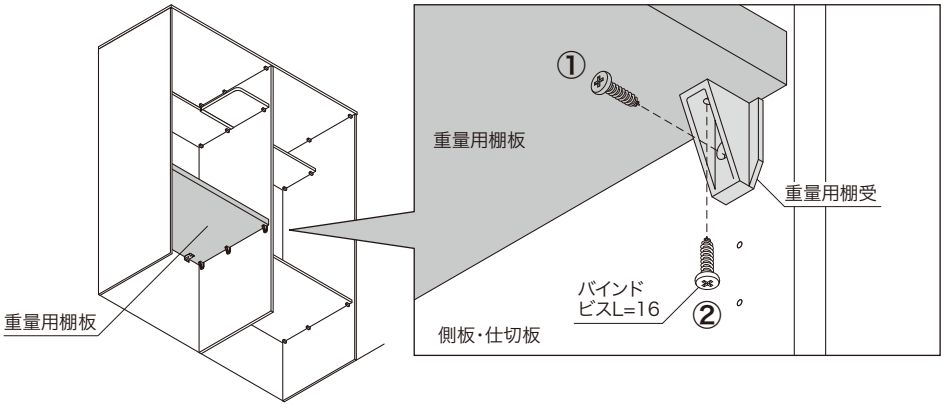
樹脂金具固定位置：前後2箇所×左右
※側板・仕切板の中央と後ろのダボ穴を使用してください。



重量用棚板

1 重量用棚受の取り付け

重量用棚受のピンをダボ穴(2個)へ差し込み、
バインドビスL=16で固定してください。

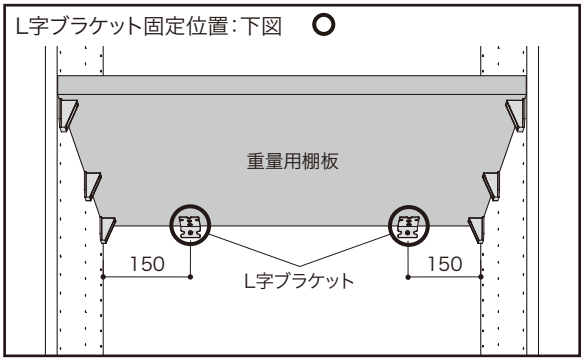


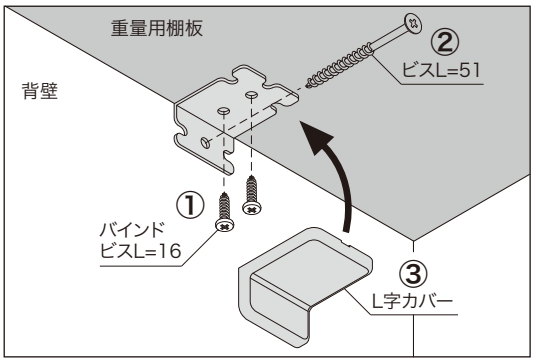
2 L字ブラケットの取り付け

背壁と重量用棚板をL字ブラケットにて図のように固定してください。

ご注意

壁面は必ず下地のある位置で固定してください。





施工手順

寸法単位：mm

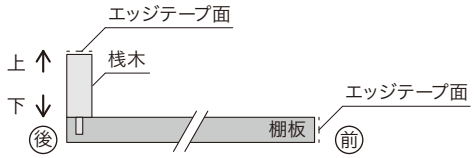
L型棚板

1 取り付け前の準備

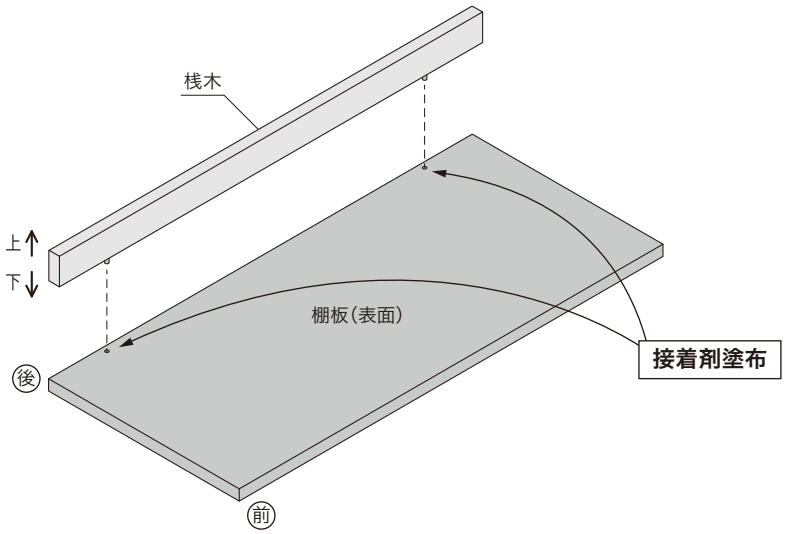
棚板表面のダボ穴2箇所に酢酸ビニル樹脂系接着剤（現場調達）を塗布し、桟木の木ダボを差し込んだ後、接着剤がなじむように圧着してください。

ご注意

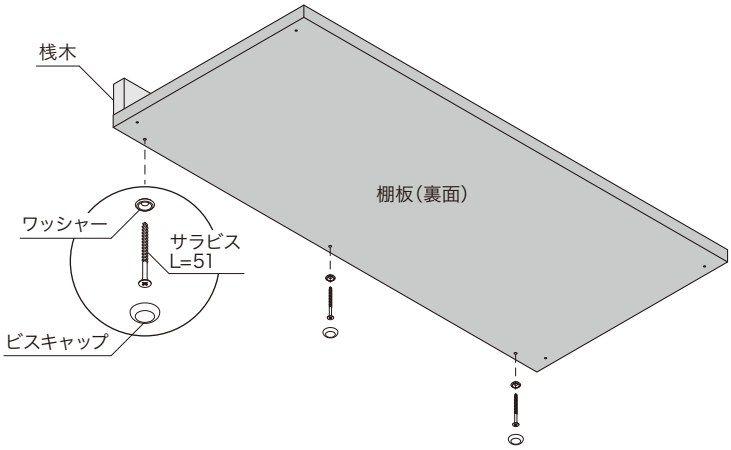
●棚板には前後、桟木には上下があります。棚板はエッジテープ面が前に、桟木はエッジテープ面が上になるように固定してください。



●組み立てには必ず当て木を使用してください。
●最低24時間静置・養生してください。



棚板裏面からサラビスL=51（ビスキャップ付）にて桟木を右図のように固定してください。



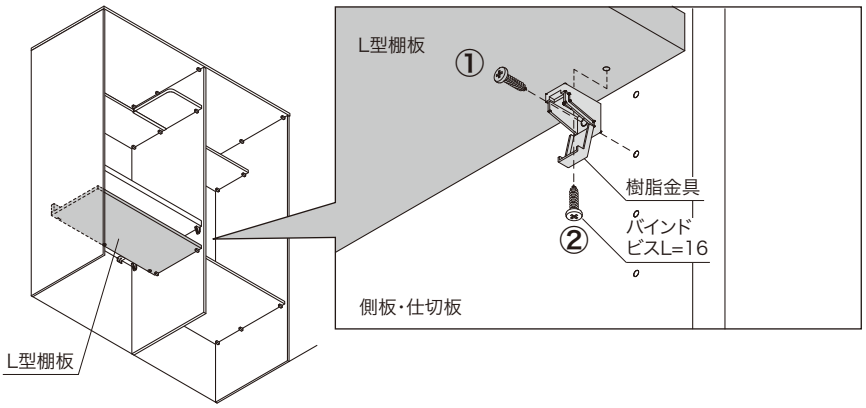
2 L型棚板の固定

L型棚板と側板・仕切板のダボ穴を樹脂金具を使って右図のように固定してください。

ご注意

使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

樹脂金具固定位置：前後2箇所×左右
※側板・仕切板の前と中央のダボ穴を使用してください。



施工手順

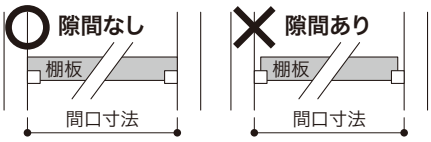
寸法単位：mm

6　棚板（可動）、網棚（可動）の取り付け

躯体や側板・仕切板と背壁桟木の垂直・直角がとれていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。

カットする場合（棚板のみ）

間口寸法と同寸法に棚板をカットします。



ご注意

●必ずエッジテープ側からカットしてください。
反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。

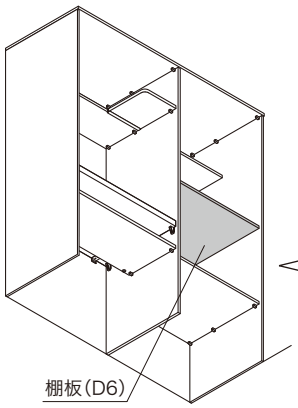
●網棚はカットできません。

可動棚受をダボ穴に奥までしっかり差し込み、各棚板をのせてください。
※可動棚受前用には前右・前左があり、形状が異なりますので取り付け時ご注意ください。

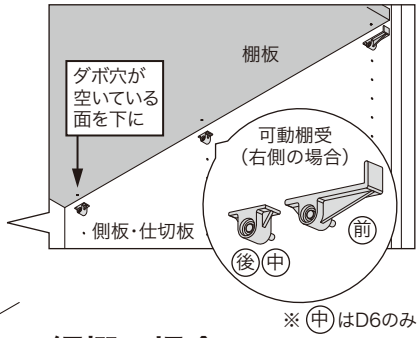
ご注意

●網棚は金属部分で側板・仕切板にキズをつけないようご注意ください。
●使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

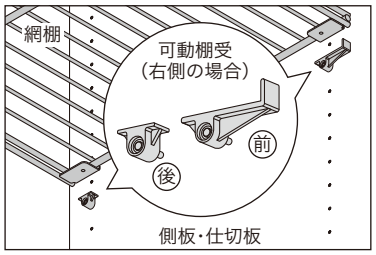
可動棚受金具取付位置：D3：前後2箇所×左右
※側板・仕切板の中央と後のダボ穴を使用してください。
D6：前後中央3箇所×左右



棚板の場合

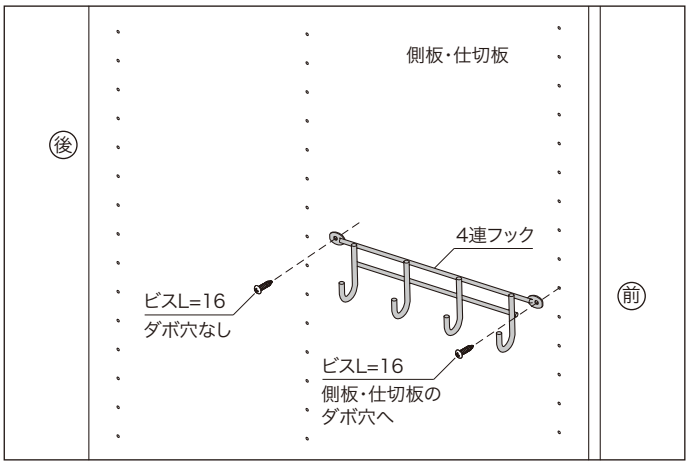


網棚の場合



7　4連フックの取り付け

ビスL=16で2箇所固定してください。
手前の固定穴を側板（仕切板）のダボ穴に合わせると固定しやすくなります。

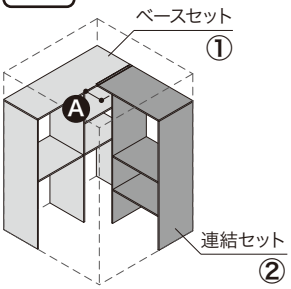


施工手順　ウォークインタイプ（L型・U型）

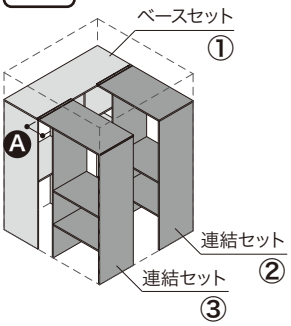
寸法単位：mm

ベースセット：両端に側板があり、壁に取り付けます。（下図①）
連結セット　：片方の側板がなく、天板を連結させます。（下図②・③）

L型



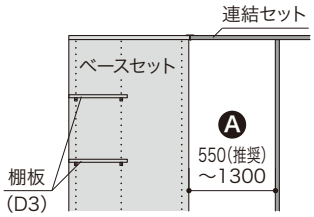
U型



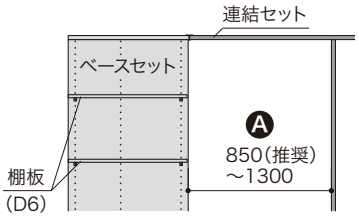
ご注意

天板ジョイント部から②エンド側板または仕切板までの幅（Ⓐ）は以下のとおりに設定してください。

対角の棚板：D3のみの場合



対角の棚板：D6が含まれる場合



●棚板（D3）のみの場合、550mm以上、棚板（D6）が含まれる場合は850mm以上間隔をあけることを推奨します。
●必ず1300mm以内で設置してください。

1　ベースセット（①）の施工

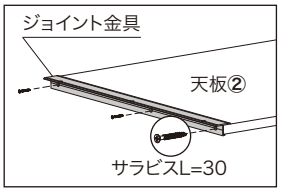
施工手順 P4～ 参照

2　連結セット（②）の施工

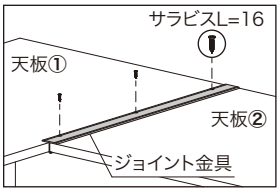
1 側板の取り付け・2 天板の取り付け

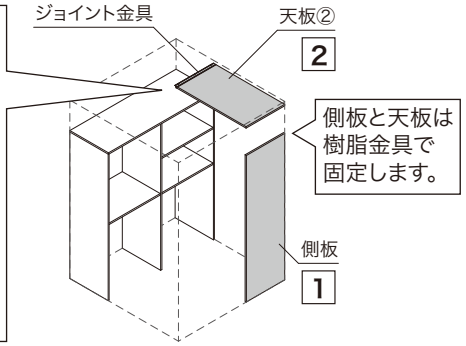
ジョイント金具の取り付け

ジョイント金具を連結セット（②）の天板に付属のサラビスL=30で取り付けます。



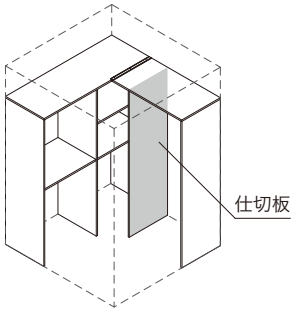
ジョイント金具をベースセット（①）の天板に付属のサラビスL=16で取り付けます。



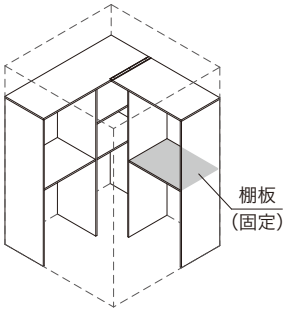


2　連結セット（②）の施工

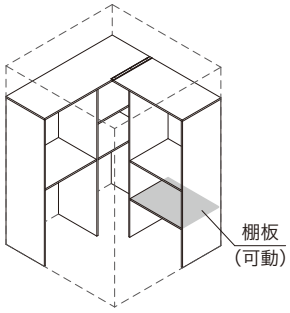
3 仕切板の墨出し・取り付け



4 固定パーツの取り付け



5 可動パーツの取り付け

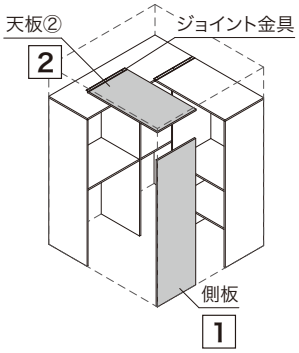


▶ L型 完成

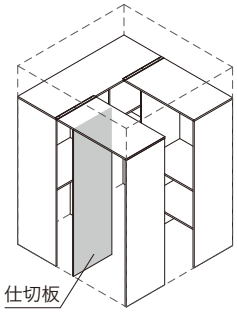
3　連結セット（③）の施工（ U型の場合のみ ）

※以下は施工の流れのみ説明しています。連結セット（②）と同様に施工してください。

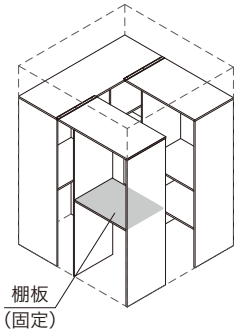
1 側板の取り付け
2 天板の取り付け



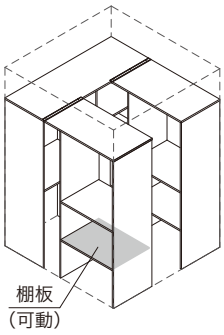
3 仕切板の墨出し・取り付け



4 固定パーツの取り付け



5 可動パーツの取り付け



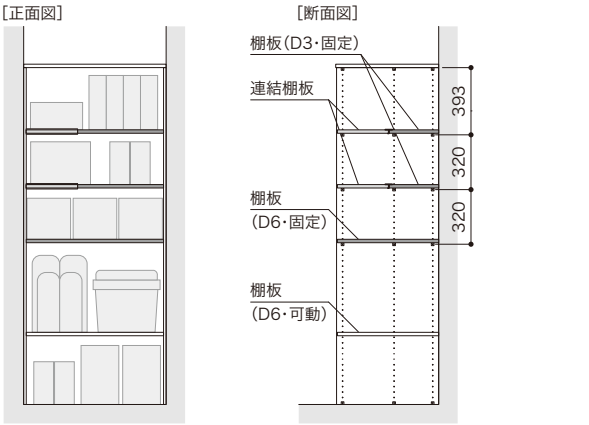
▶ U型 完成

※上記はジョイント金具についての手順を説明しています。その他のプラスアップパーツについては、施工手順 P7～ 参照。

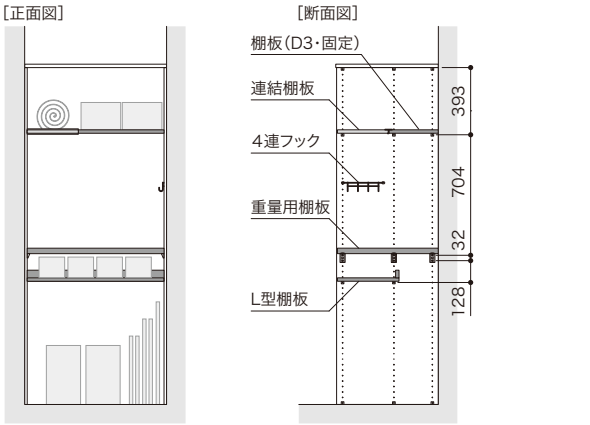
設置位置イメージ

寸法単位:mm

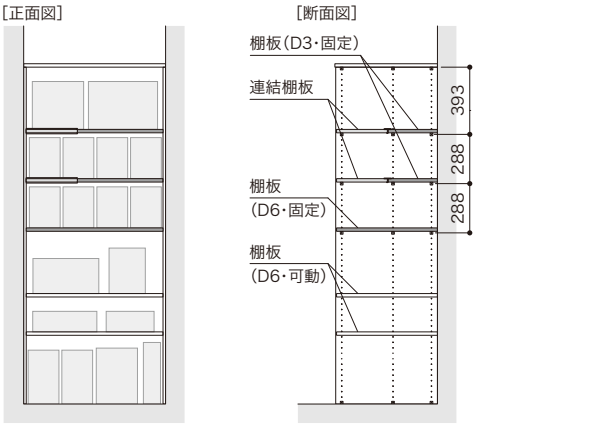
防災・日用品



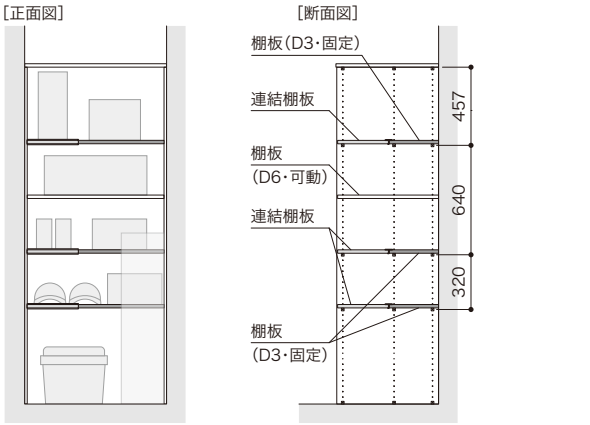
梱包・作業デスク



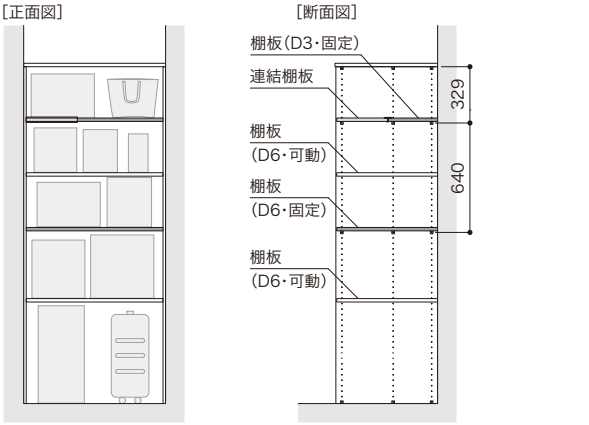
パントリー・キッチン家電



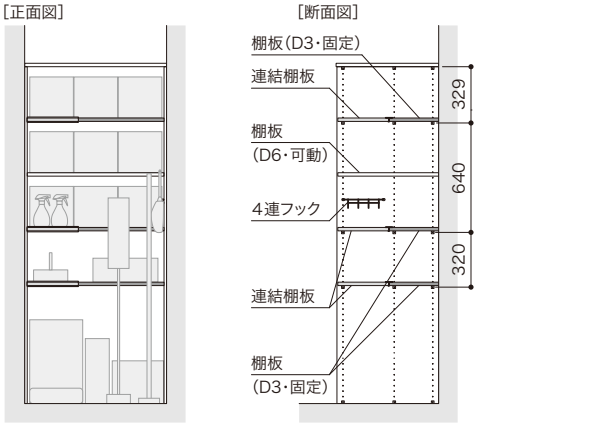
趣味



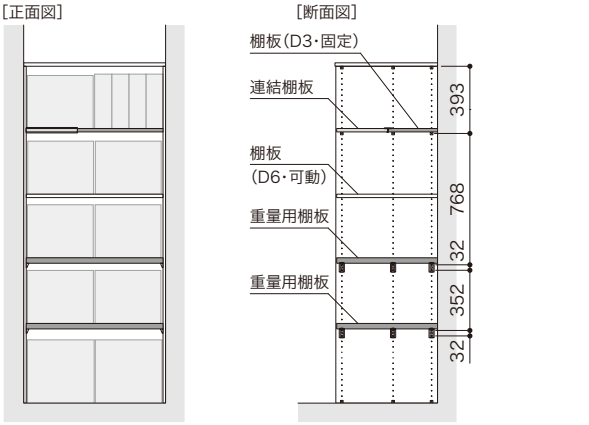
イベント・季節家電



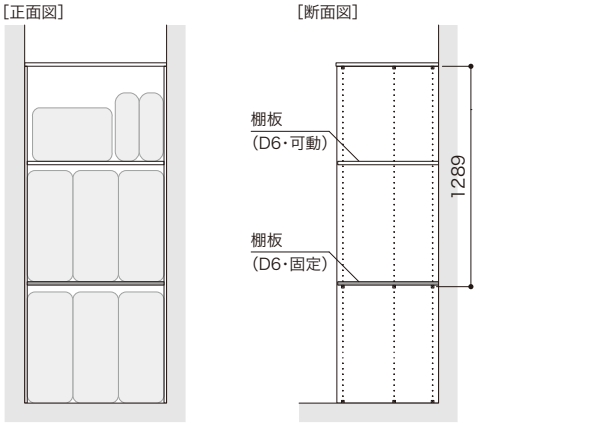
掃除



思い出・書籍



寝具・クッション

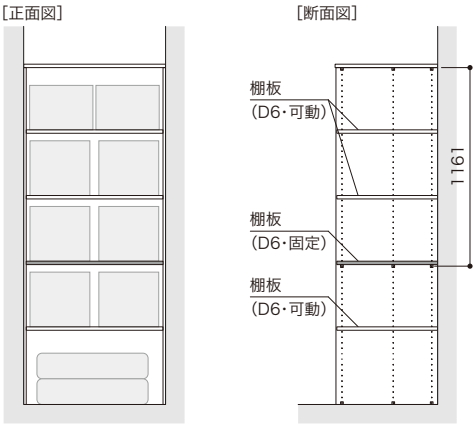


※図中の寸法は推奨値となります。 施工前の確認事項 P3 をご確認のうえ、設置位置を決定してください。

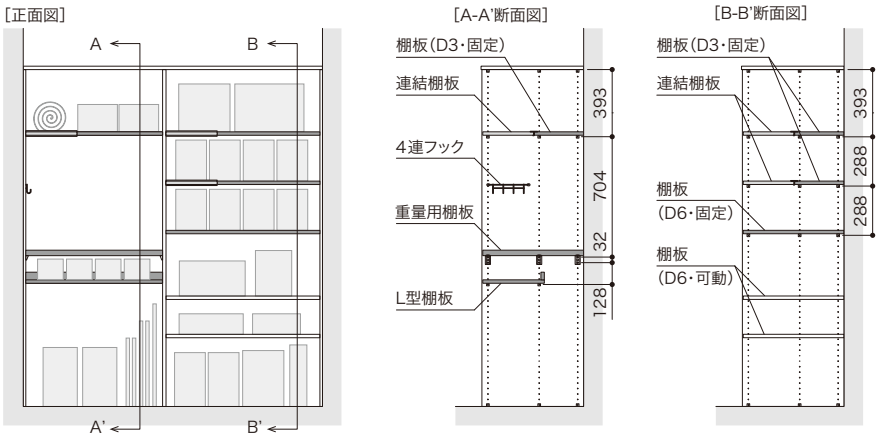
設置位置イメージ

寸法単位:mm

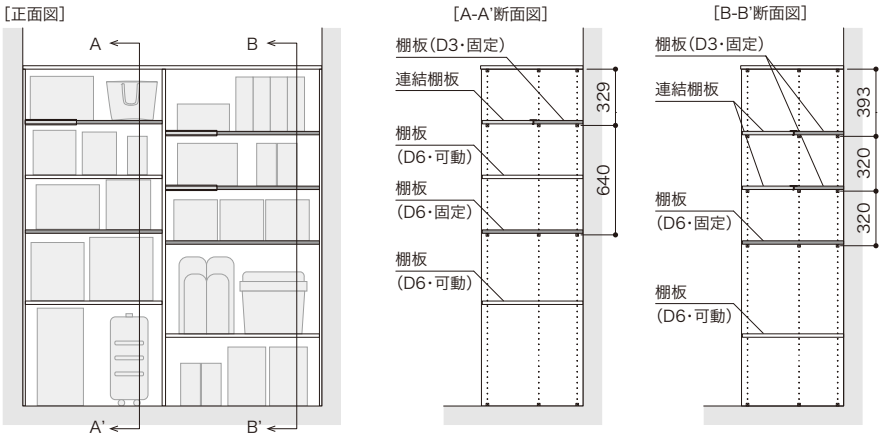
シーズンオフの衣類・ラグ



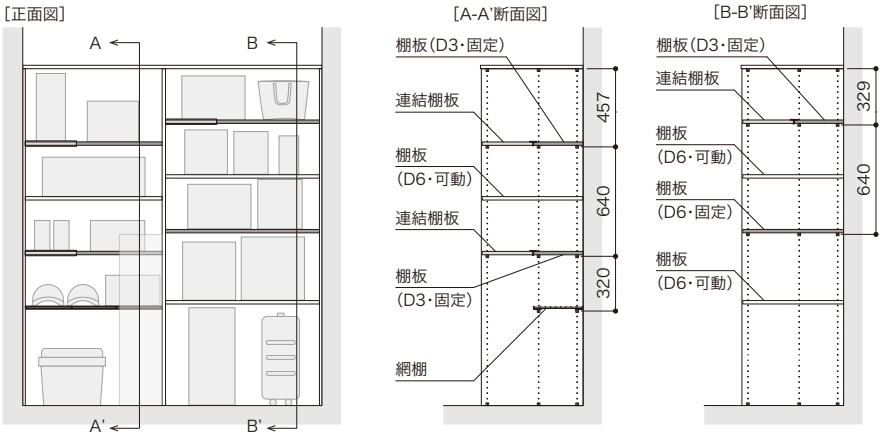
梱包・作業デスク ｜ パントリー・キッチン家電



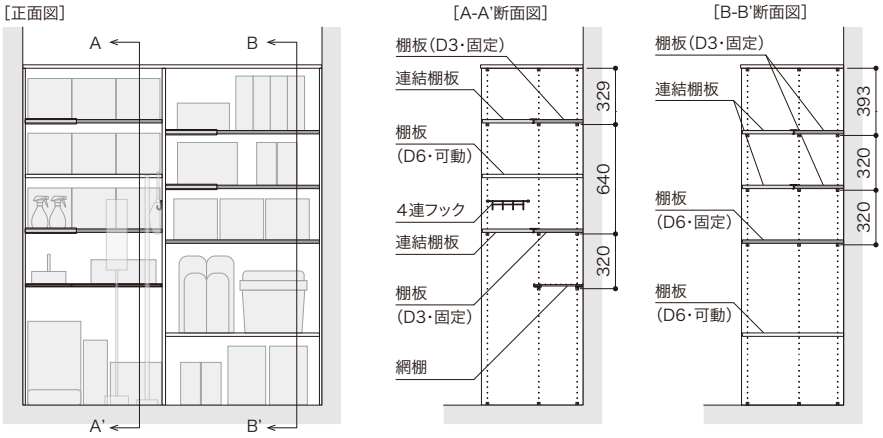
イベント・季節家電 ｜ 防災・日用品



趣味 ｜ イベント・季節家電



掃除 ｜ 防災・日用品

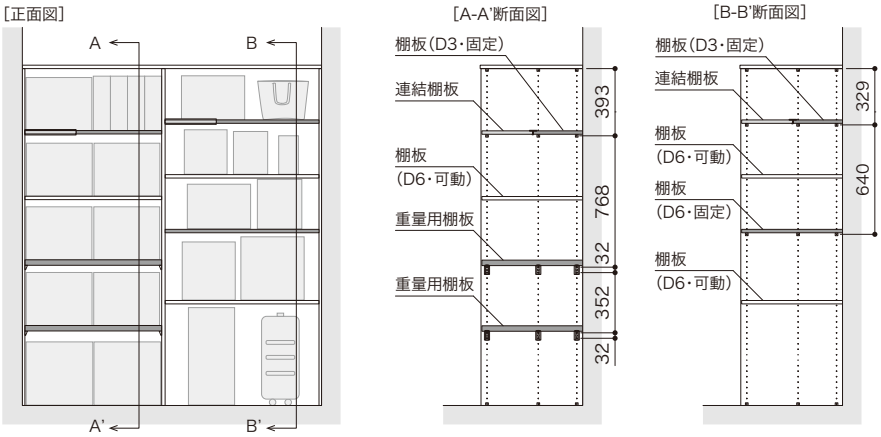


※図中の寸法は推奨値となります。 **施工前の確認事項** P3 をご確認のうえ、設置位置を決定してください。

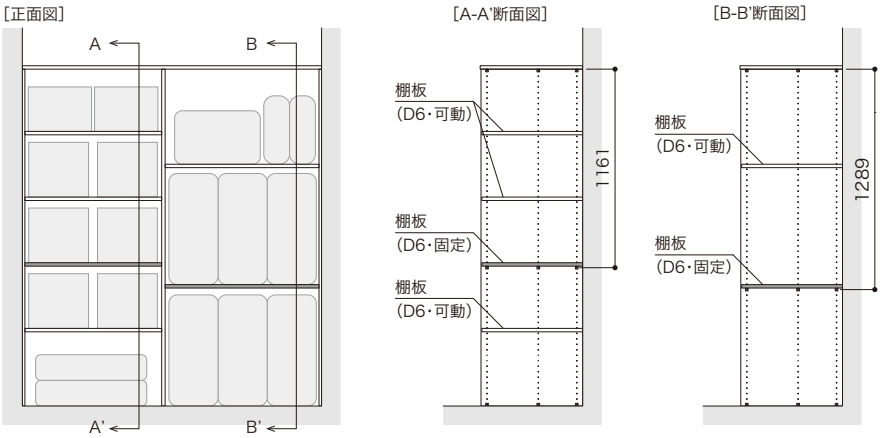
設置位置イメージ

寸法単位：mm

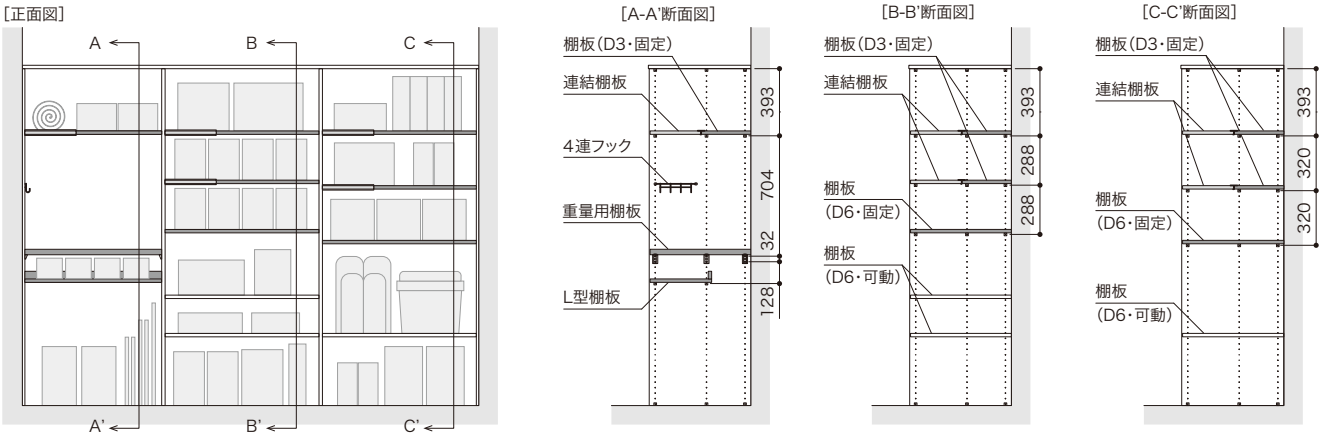
思い出・書籍　｜　イベント・季節家電



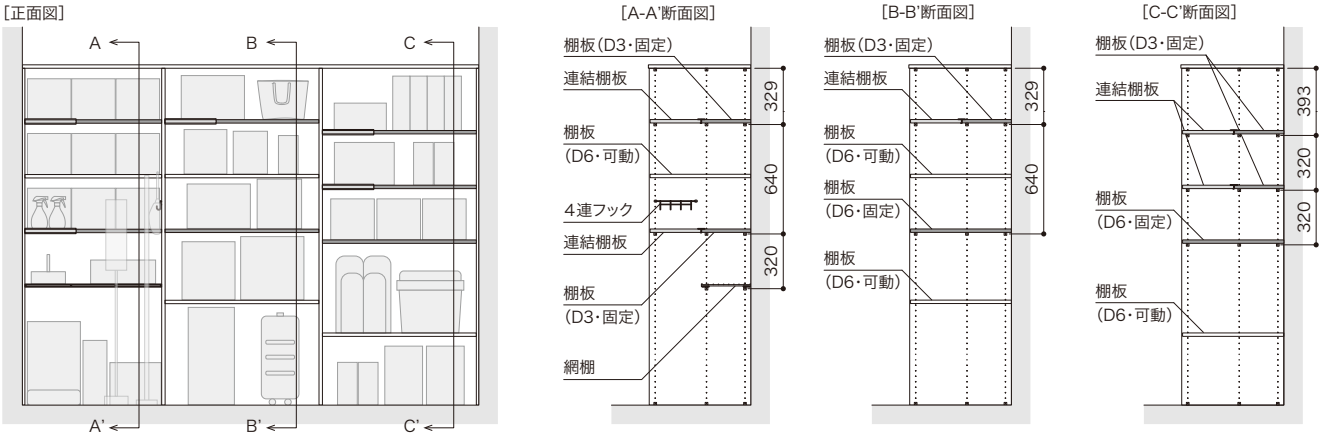
シーズンオフの衣類・ラグ　｜　寝具・クッション



梱包・作業デスク　｜　パントリー・キッチン家電　｜　防災・日用品



掃除　｜　イベント・季節家電　｜　防災・日用品



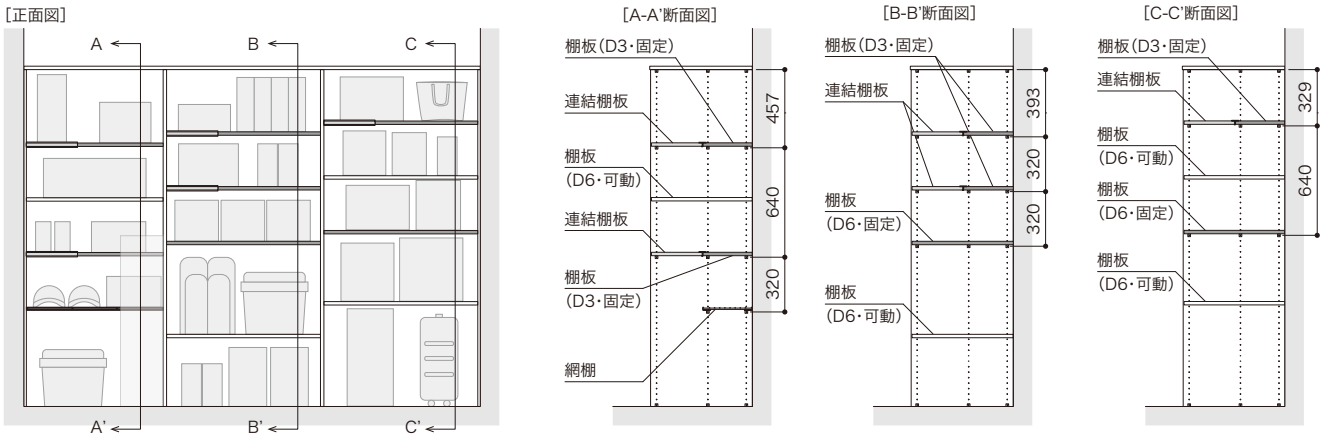
※図中の寸法は推奨値となります。 **施工前の確認事項** P3 をご確認のうえ、設置位置を決定してください。

D3= 奥行300 用　D6= 奥行600 用

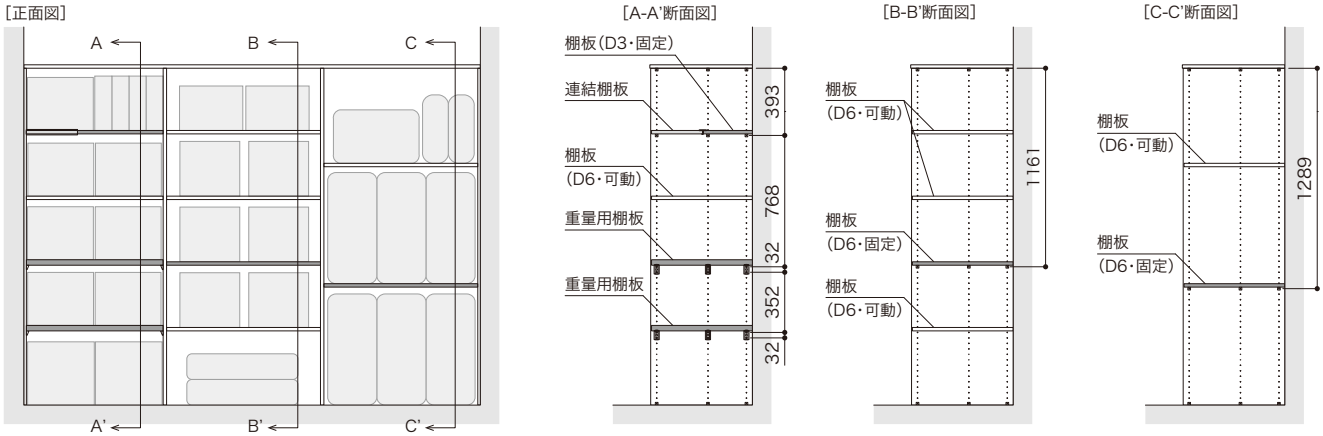
設置位置イメージ

寸法単位:mm

趣味 ｜ 防災・日用品 ｜ イベント・季節家電



思い出・書籍 ｜ シーズンオフの衣類・ラグ ｜ 寝具・クッション



※図中の寸法は推奨値となります。 施工前の確認事項 P3 をご確認のうえ、設置位置を決定してください。

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級表示

製品名:ストックルーム収納 モノック

製造者名称:南海プライウッド(株)

発散区分:F☆☆☆☆

住宅部品表示ガイドラインによる

ロット番号:製品梱包に記載

-構成材料-

内装仕上部分	
ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

下地部分	
ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

ご注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

問合せ先:品質管理チーム　087-894-8025

NANKAI PLYWOOD 南海プライウッド株式会社　本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1チーム	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
	首都圏 第2チーム	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
	中部営業チーム	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
	中四国営業チーム	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
	九州営業チーム	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	特需 第1チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669
	特需 第2チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669

https://www.nankaiplywood.co.jp/